

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 8 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるような、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	管理者と職員が丸となって理念に基づく運営を行うことが望まれます。今後、更に職員の意識を高めるためにも、法人の理念を基に、事業所独自の理念や目標を作り、各ユニットに掲示することで、周知と意識づけをされてはいかがでしょうか。	法人の介護理念に基づいて、各ユニットの特徴や雰囲気や踏まえ、職員、利用者が分かりやすく目標に向かえるような理念を作成する。	サービス向上委員会で各ユニットでの理念作成の趣旨を話し合い、全体会議で職員に周知し作成していく。	3ヶ月
2	6	各種研修が実施され、議事録も確認できました。議事録には「確認しました」という押印はあるものの、職員一人ひとりの研修報告書が作成されていませんでした。研修後の気付きや理解度・知識の習得度などを確認する必要があります。職員の資質向上を図る上で研修報告書の提出は必須だと思われます。	研修で学んだこと、気付きを職員一人ひとりが仕事に活かしていくことができるように研修報告書の作成を行う。	研修報告書を作成することで理解度・習得度を管理者が把握し、仕事にフィードバックできているか、確認することで職員の資質向上を図っていく。	2ヶ月
3	49	入居者の重度化や新型コロナウイルス蔓延に伴い、外出する機会は少なくなっています。気分転換を図る上でも、玄関先に設置されているベンチでの外気浴を行ったり、入居者と共に回覧板を届けたりするなど、日常生活の中で、身近にできる外出の試みから始められてはいかがでしょうか。	新型コロナウイルス感染予防の観点から外出を控えることがありますが、グループホームの入居者の方にとっては外出することで、いつもと違う景色を見識し懐かしい記憶、刺激を受け、生活に楽しみを持って貰えるようにする。	月にドライブレク週間を設けることにする。その時の入居者の方の体調や気分次第で参加されるかどうか変わりますが、毎月ドライブに行き外出する機会を作るようにする。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。